

算数 学習相談		学研教育情報資料センター  小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 分母がちがう分数のたし算 / 理解シート
------------	---	--

## 真分数 + 真分数 = 帯分数で、答えが約分できる計算のしかたを教えて

(真分数 + 真分数 = 帯分数)



$\frac{9}{10}$  と  $\frac{1}{2}$  を通分して、分子だけたすんだよ。答えが仮分数で約分できるときは、約分して帯分数に直すんだよ。



下の分数のたし算をしましょう。

①  $\frac{9}{10} + \frac{1}{2} = \frac{9}{10} + \frac{5}{10}$  ・通分する。分母は、10と2の最小公倍数の10。  
 $= \frac{14}{10} = \frac{7}{5}$   $\frac{9}{10}$  はそのまま。  $\frac{1}{2} = \frac{1 \times 5}{2 \times 5} = \frac{5}{10}$   
 ・分母はそのまま、分子だけたす。  
 $= 1\frac{2}{5}$  ・10と14の最大公約数の2で約分する。

※ 答えは約分した仮分数でも、正しい答えになります。

②  $\frac{7}{15} + \frac{7}{12} = \frac{28}{60} + \frac{35}{60}$  ・通分する。分母は、15と12の最小公倍数の60。  
 $= \frac{63}{60} = \frac{21}{20}$  ・  $\frac{7}{15} = \frac{7 \times 4}{15 \times 4} = \frac{28}{60}$   $\frac{7}{12} = \frac{7 \times 5}{12 \times 5} = \frac{35}{60}$   
 ・分母はそのまま、分子だけたす。  
 $= 1\frac{1}{20}$  ・60と63の最大公約数の3で約分する。

③  $\frac{5}{6} + \frac{7}{10} = \frac{25}{30} + \frac{21}{30}$  ・通分する。分母は、6と10の最小公倍数の30。  
 $= \frac{46}{30} = \frac{23}{15}$  ・  $\frac{5}{6} = \frac{5 \times 5}{6 \times 5} = \frac{25}{30}$   $\frac{7}{10} = \frac{7 \times 3}{10 \times 3} = \frac{21}{30}$   
 ・分母はそのまま、分子だけたす。  
 $= 1\frac{8}{15}$  ・30と46の最大公約数の2で約分する。